

## 地下水調査の結果について (令和元年11月)

令和元年11月に行った地下水調査の結果、全ての観測井戸において、地下水の水質汚濁に係る環境基準値を満足していました。

供用開始後の地下水調査の結果

単位：mg/l

試料 (採水日) 項目	ホーリング No. 1	ホーリング No. 2	ホーリング No. 3	定量下限値	基準値
	11/14	11/14	11/14		
pH	6.2	6.6	5.4	—	—
電気伝導率	50.4	32.8	18.0	0.1	—
浮遊物質	不検出 (<1)	不検出 (<1)	1	1	—
総水銀	不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	0.0005	0.0005以下
アルキル水銀	不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	不検出 (<0.0005)	0.0005	検出されないこと。
カルシウムイオン	60	43	8.5	0.1	—
ナトリウムイオン	24	21	28	0.1	—
カリウムイオン	0.6	0.7	1.6	0.1	—
マグネシウムイオン	11	9.2	2.0	0.1	—
硫酸イオン	28	26	0.9	0.1	—
硝酸イオン	12	10	0.4	0.1	—
炭酸水素イオン	120	120	55	0.5	—
塩化物イオン	90	34	30	0.1	—

(注) ・ 不検出とは、定量下限を下回っていることを示します。

・ 分析は、「土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン（改訂第2版）」の「Appendix-7地下水の採水方法」に従い採水した試料を用いて分析した。